



町産材を活かした持続可能な学習 町内児童たちがイスづくりに挑戦

11月に入り、森林学習と地域産業への理解を深めることを目的に、白鷹町商工会建工部会（後藤敬一郎会長）が主催する小学生対象の木工教室が、町内各小学校で開催され、総勢110名の児童が町産木材を活用した「イスづくり」に挑戦しました。児童たちは、墨付けや金槌を使った釘打ちなど慣れない作業に苦戦しながらも、建工部会の先生方の指導のもと、幅30センチ、高さ60センチの手作りのイスを見事完成させました。

参加した児童からは「釘打ちが特に難しかったが、最後には慣れてきて楽しかった。」「イス以外のものも作ってみたい」などの感想が聞かれました。



先生方による指導のもと
素晴らしいイスを作り上げました。



新型コロナウイルス感染症対策と社会経済活動等の建て直しを求める 白鷹町議会が佐藤町長に政策を提言

11月25日、白鷹町議会（今野正明議長）が佐藤町長に令和3年度政策提言書を提出しました。

これは、議会が町の課題等について協議し、町政運営に関する政策を提言するもので、平成22年度から実施されています。

今年度は特に、新型コロナウイルス感染症対策とその影響による社会経済活動の建て直しについて提言。さらに、荒砥高校の存続、地域コミュニティの強化策、国道348号や西廻り幹線道路等の整備促進などについてこれまで同様に推進することを提言されています。



今野議長（左）より佐藤町長（右）に
提言書が手渡されました。



地域を守る 縁の下の力持ち 新町消防・防災応援団が始動

新町町内は、令和2年7月豪雨災害を契機に、今後も起こり得る災害から地域を守るため、災害現場の第一線に立つ消防団や町内役員の活動のサポートに従事する有志ボランティア、『新町消防・防災応援団』を結成しました。

11月26日に、団員に対してヘルメットが配布されるとともに、町防災管財係長による防災講話により、地域防災に対する意識を高めました。現在は14名の団員で活動していますが、退職された方を中心に加入者を増やし、地域での防災に取り組んでいく予定です。



菊地吉昭団長（中央）に
ヘルメットが手渡されました。



服の力を肌で体感 白鷹高等専修学校で文化祭を開催

11月13日に白鷹高等専修学校で、文化祭が開催され、1年生から3年生までの全学年の生徒が自ら手掛けた衣装を家族や学校関係者に披露するファッションショーが行われました。

「UPDATE～服の力～」のテーマのもと、2部構成で行われたファッションショー。授業で制作したコートやジャケット、さらには「不思議の国のアリス」などの登場人物をモチーフに制作した色とりどりの衣装を身にまとい、特設のランウェイを凛々しくも、華やかな姿で堂々と歩き、これまでの学習の成果を披露しました。



華やかな衣装を身にまといランウェイを歩く生徒たち



安全安心なまちづくり町民大会 町ぐるみで築く安全安心な住みよい町を目指して

11月14日、白鷹町安全安心なまちづくり町民大会が白鷹町文化交流センターあゆむで開催されました。

同大会は、各関係団体が一体となって交通安全や犯罪防止、防災の意識高揚を呼びかけ、安全安心なまちづくりに寄与することを目的にしています。この日は、山形地方気象台の栗田邦明氏による防災気象情報の講演や、山形県警察音楽隊が迫力ある演奏で大会を盛り上げ、町交通安全母の会土屋重子会長が「各種団体が力を合わせ、より安全で安心して暮らせる地域社会実現のためさらに努力する」と大会宣言を読み上げました。



大会宣言を読み上げる白鷹町交通安全母の会
土屋重子会長（中央）



第47回山形県統計大会 永年にわたり各種統計調査にご尽力いただきました

11月18日山形テルサを会場とし、「第47回山形県統計大会」が開催されました。その席上において、永年にわたり労働力調査にご協力をいただいている調査員として、鈴木 迅一郎さんが総務大臣表彰を受賞されました。このほかにも、同表彰式において、永年にわたり統計調査員としてご尽力された11名の方が表彰されました。

受賞された皆さま、おめでとうございます。

◇表彰者一覧

総務大臣表彰 労働力調査	鈴木迅一郎さん	
山形県統計協会会長表彰 統計調査員功労者	梅津トシ子さん	小谷部健一さん
	熊谷裕治さん	小林秀正さん
山形県統計協会会長感謝状 多年従事統計調査員	石川光正さん	梅津富二さん
	大木健一さん	竹田敏恵さん
	竹田みちさん	沼澤 悟さん
退職統計調査員	梅津康子さん	